

Symbiosis Letter

[シンビオシス レター]

2026
6



研修のご案内

受託先であるトヨタ白川郷自然学校を活用し、研修プログラムを提供しています。

日常業務とは異なる課題解決型グループワークを通じて、企業人に求められるヒューマンスキルの向上に寄与するプログラムをご提供いたします。また、連帯感を強めコミュニケーションを醸成することを目的としたプログラムや、社会貢献活動や環境意識の向上など、目的に沿ったプログラムをご提案しています。

実際に利用された参加者からは「自然の中でグループワークすることで、人本来の姿が出やすくなると感じた」「時間をかけた体験でより納得感がありました」「コミュニケーションとは簡単に言えることだが、コミュニケーションの仕組みを学べた」などのお声をいただいております。



グループ登山



グループ討議

以上の学びがある。「共通体験」により対話が生まれている」といった、会社から離れた環境や講義的な研修とは異なるアプローチでの研修効果に一定の評価をいただいております。



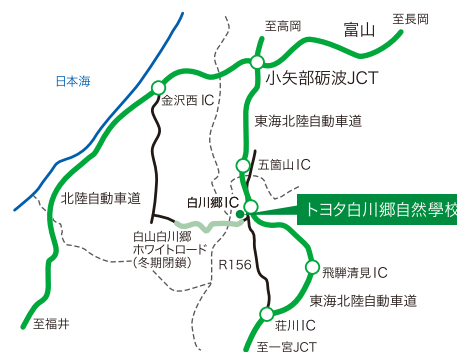
社会行動経験学習

■自ら考え、自ら行動する企業人を育成するグループプロセス実習

例 合意形成が求められる課題達成型グループワークを通じて 組織行動において大切なことや、参加者自身の態度への気づきを促し、普遍的なヒューマンスキルを啓発します。

【その他のプログラム】

- 社会行動経験学習
- オリエンテーリング
- 小講義
- コミュニケーション実習
- ふりかえりとわかちあい



- NPO法人 白川郷自然共生フォーラムは、トヨタ白川郷自然学校の運営ならびに地域の自然保全活動などに取り組んでいます。会員(法人・個人)は随時募集しています。
- 会員になられた方には(宿泊費・イベント参加費の割引)や(会報の送付)などの特典があります。会員登録方法については下記へお気軽にお問い合わせください。

車でのアクセス

- 東名高速・名神高速一宮JCT→東海北陸自動車道(2時間)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校
- 北陸自動車道小矢部砺波JCT→東海北陸自動車道(40分)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校

発行者 NPO法人 白川郷自然共生フォーラム
Forum for Environmental Symbiosis in Shirakawa-go

〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223(トヨタ白川郷自然学校内)
TEL.05769-6-1185 FAX.05769-6-1287 Mail.info@f-ess.com HP.https://f-ess.jp

「ごあいさつ」

理事長 田中 泰

「好きこそ物の 上手なれ」

今年度から白川村の子どもたちを対象にした学童「てらすこ」を運営しています。「てらすこ」とは村の方言でキツキのことです(詳細は中ページ)。集まった子供たちは学校とも家庭とも異なる環境と人間関係の中で、外遊びと読書とモノづくりを思う存分楽しんでいきます。春休みに見学したときにも、大声を出し汗だくになり鬼ごっこで大笑いをしている様子を見ました。本当に楽しそうでした。

一方、この子どもたちも家に帰るとおそらくスマホやタブレットで動画を観ていることでしょう。あるいはゲームをしていることもあるでしょう。本人にとってはそれも楽しいことなのです。

動画視聴も外遊びも同じ枠内です。子どもたちにとっては共存しており、何かしらの成長の糧になることでしょう。好きこそ物の上手なれ、です。

では私たちがやるべきことは何か。ひとつはその「楽しいの枠」にできるだけ多くの選択肢を入れることなのではないでしょうか。スマホゲームのような瞬間的で刺激の強い楽しみだけでなく、読書やモノづくりのようなじっくりとくるとる楽しみや、友達と遊んで気持ちを共有できることの喜びなど、様々な楽しみを体験させたいものです。

しかしながら私たちがすべての子どもたちのあらゆる楽しみを仕込むことはできません。そこで活用できるのが自然そのものです。予測できない風や天気、偶然現れる生き物や草花との出会いなどが子供たちの遊びを誘発してくれるでしょう。もっともつと自然の中へ子どもたちを連れていきましょう。

やってみたい
作ってみたいを叶える
体験のこころ



やまの学童てらすこ



アマガエもあだちです



外遊びと読み聞かせとモノづくりを
好きになる

この事業では、これまでの単なる児童預かり機能だけでなく、トヨタ白川郷自然学校の知見を生かした自然学校型カリキュラムで運営を行い、子どもたちの「生きる力」を育み、村の暮らしに根ざした豊かな原体験を残すことを目標とします。

就労者の保育支援だけの学童ではなく、社会教育としての自然体験活動（白川村民課×教育



白川村が新たな学童保育「やまの学童てらすこ」を開始するにあたり、当法人がその事業を受託しました。

委員会）を提供することが大きな一つの特徴となります。開始にあたっては34名の児童の登録となり、村民からの期待の高さを実感することとなりました。

2026年3月末には試験開所を行い、5日間、のべ40人の利用となりました。2026年度は本格運用となり、安全を第一に、晴れの日には外で遊び、雨の日にはモノづくりと読書を楽しむ学童保育を実施してまいります。

てらすことは？

キツツキの方言名。村の山々でキツツキの音（子供たちの声）を響かせてほしいという思いが込められています。未来を照らす子どもたちという意味も懸けてあり、Terrasco(造語)と表記したとき、Terraは大地・地球の意味であり、中山間の小さな村でも地球のことを考える子どもになってほしいと考えています。



トヨタ白川郷自然学校



2025年度もトヨタ自動車(株)から委託を受け、「トヨタ白川郷自然学校」の運営を行い、年間延べ約9,400人の方にご利用いただきました。また年間17種類のアクティビティと7種類のキャンププログラムをご用意し、延べ約7,030人の方にご参加いただきました。キャンププログラムでは1か月キャンプを実施。キャンプ終了後には参加者をサステイナブル人材として成長した姿で送り出すことができました。さらに「クワガタの森サポーター倶楽部」ではお礼返しを主旨に、年間のべ70名の倶楽部会員とともにクワガタが増える里山づくりを行いました。一方2025年度もトヨタ自動車と協働で「SDGs担い手育成講座」で若い人材を育てる一助を担うほか企業におけるサステナビリティの自分事化に取り組む研修検証を実施しました。

同校は開校20周年を迎え、地元関係者など85名の方々を迎えた記念パーティーも実施。これまでの感謝とこれからの展望が共有



されるものとなりました。また2025年は白川郷の世界遺産登録30周年の年でもあり、その記念式典のディナーでは白川産にこだわったコース料理を提供しその節目を祝う一端を担いました。2026年度も引き続き委託を受け、「誰でもいつでもどこでも、自然とともにwell-beingでいられる社会の実現」を目指します。





大窪池を愛する会 活動報告

白川村の景勝地「大窪池」を訪れる方が自然に歩きたくなる憩の場となるよう、2016年の会発足より、周辺散策路の保全活動を継続的に行っております。2025年度も計4回、のべ68名の会員の方々と、雪害木の伐採や周遊路の草刈り、湖面の陸地化を食い止めるため、張り出した葦や低木の伐採に力を入れました。

ご家族での参加やお子さんの友人と一緒に参加して下さるなど、幅広い年齢層での活動に発展してきています。今後も継続して大窪池の景観を守っていきます。



伐採した木を
頑張って運びました



地域との交流

地域との交流をより活性化するため、天下の奇祭「どぶろく祭り」に当フォーラムの職員が参加しやすくするために組織として施策を実施。獅子若衆の一員となったり、民謡の踊り手としての参加、お越し太鼓や村を練り歩く行列への参加など、地域の方と一緒に伝統のお祭りを盛り上げています。

また5月の「田植え祭り」への参加や、地元消防団への協力など、地域に根差した活動にも積極的に参加しています。



地域の方と一緒に
盛り上げています!



日頃より当法人の運営にご賛同・ご支援をいただき誠にありがとうございます

愛知製鋼 / 愛知陸運 / 青山製作所 / 朝日ヶ丘産業 / 大豊工業 / オティックス
鹿島建設 / 岐阜車体工業 / 杉浦製作所 / ダイハツ工業 / 太平洋工業 / 梶屋
デンソー / 東海理化 / トーエーネット / トヨタカローラ愛知 / トヨタカローラ富山
豊田合成 / トヨタシステムズ / トヨタ自動車 / 豊田自動織機 / トヨタ車体
トヨタ生活協同組合 / 豊田中央研究所 / 豊田通商 / トヨタ紡織
トヨタファイナンシャルサービス / トヨタ不動産 / ネットトヨタ中部 / ネットトヨタ富山
ネットトヨタ東埼玉 / 斐太石油 / 日野自動車 / ホンダロジコム (50音順・法人格略)

白川村でもしもを生き抜く スキルアップ学習 (里山遊び塾)



2005年より白川村の支援を受け健全な放課後活動の推進や地域の教育力の向上、豊かな自然環境への理解を目的として、村の子どもたちへ様々な体験を提供しています。

白川郷学園の授業(村民学)では「72時間サバイバル教育」(72時間サバイバル教育協会)のカリキュラムを利用し、『白川村でもしもを生き抜くスキルアップ学習』を2025年度も実施しました。

2020年から実施する同学習は村の子供たちの、災害時に自分を守る「自助」、他人を助ける「共助」の



力を育むためのプログラムで、25年度の8年生が、6年間で8つのカリキュラムをすべて受け終わって初めての学生となりました。

また当法人設立当初から行っている、ふれあい塾事業(里山遊び塾)も実施。休日に希望者を募っての自然に親しむ活動を実施し、全体で年間11回、延べ145人が参加しました。このふれあい塾(里山遊び塾)事業は、「やまの学童てらす」事業の一部として、これからも白川村の子供たちとともに成長していきます。

自然派画伯になりました



登山届回収

アウトドアでの活動を推進する当フォーラムでは、安全に楽しく白山を楽しんでいただくべく、白山連峰の一部における登山届の管理及び登山指導を白山山岳遭難対策協議会より委託を受け、その業務を実施しております。

2025年度は積雪時に野谷荘司山付近において1件の遭難(道迷い)が発生。幸い怪我はなく自身で警察への通報が行える状況で、翌日には山岳警備隊が発見し、徒歩で下山されました。登山届は提出されておらず、たまたま電波の通じる場所にいた、天候が悪化しなかったなど様々な良い条件が偶然重なり大事には至りませんでした。私どもも改めて安全意識啓蒙の必要性について考えさせられました。



県道白山公園線が大雪の影響により罹災。復旧工事による通行止めが解除されなかったため、令和7年度は営業が出来ませんでした。

令和7年度をもって指定管理業務の契約は終了となり、その事業運営は村内他事業者を引き継がれますが、今後も同エリアの利用促進や豊かな自然の魅力発信に協力していきます。

大白川